

第10回 新県美展 (第74回 広島県美術展) 開催要項

1 趣旨

広く県民から美術作品を公募し、優れた作品を展示することにより、創作活動を奨励するとともに、鑑賞の機会を提供し、芸術文化の向上に資する。また、平成24年度から令和元年度まで、県内の児童・生徒の美術力（感じる力、考える力、みる・かく・つくる力）の向上を図ることを目的として開催していた公募展「広島県ジュニア美術展」を、新県美展ジュニア部門として同時開催する。

●公募する作品の種目

- 一般部門：絵画系・彫塑系・工芸系・書系・写真系・デザイン系・映像系
- ジュニア部門：絵画・彫刻・工芸（工作）・写真・デザイン

※ジュニア部門に関する詳細は、別途「ジュニア部門要項」を御参照ください。以下、特段の断りがない限り、ジュニア部門を除く種目について記載しています。

※今後の新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本要項記載内容を急きょ変更する場合があります。予め御了承ください。変更が生じた場合は随時、広島県ホームページ等でお知らせいたします。

2 展覧会の概要（会期・会場・作品の展示について）

主催／広島県

共催／三原市教育委員会・福山市・府中市・庄原市教育委員会・江田島市教育委員会・世羅町教育委員会・広島県教育委員会・中国新聞社

後援／NHK 広島放送局・中国放送・広島テレビ・広島ホームテレビ・テレビ新広島・広島エフエム放送・FM ちゅーピー 76.6MHz・エフエムふくやま・尾道エフエム放送・FM はつかいち 76.1MHz・リビングひろしま

●中央展（広島県立美術館）

会期：令和4年6月11日（土）～6月26日（日）※会期中無休

開館時間：9時～17時（金曜日は20時まで／入場は閉館の30分前まで／6月11日（土）は10時開場）

展示作品：入賞作品・入選作品（ジュニア部門含む）、招待作家の作品及び第8回（2019年度）広島県ジュニア美術展大賞作品

※招待作家は、県内に在勤・在住し、県内の美術教育に詳しく、制作指導や美術文化の発展に貢献してこられた方々です。詳しくは広島県ホームページを御覧ください。

●巡回展（下記のとおり）

開催市町	会期	会場	地元入選作品の対象
世羅町	7月6日（水）～10日（日）	世羅町せら文化センター ☎0847-22-4411	世羅町
府中市	8月3日（水）～7日（日）	府中市生涯学習センター ☎0847-41-8977	府中市
福山市	8月17日（水）～21日（日）	ふくやま美術館 ☎084-932-2345	福山市、神石高原町
三原市	8月24日（水）～28日（日）	三原リージョンプラザ ☎0848-64-7555	三原市
庄原市	8月31日（水）～9月4日（日）	庄原市田園文化センター ☎0824-72-1159	庄原市
江田島市	11月3日（木）～6日（日）	能美市民センター ☎0823-43-1902 （江田島市教育委員会生涯学習課）	江田島市

開館時間：会場により異なりますので、それぞれの会場にお問合せください。

展示作品：入賞作品・地元入選作品（映像系は全入選作品）及びジュニア部門大賞作品

※映像系作品を展示する会場は、世羅町、府中市、福山市、三原市です。

3 公募する作品の種目及び規格

●絵画系（A 日本画 B 油彩画 C その他）

額装作品：カンバス等の大きさ 65.2cm×45.5cm（M 15 号）以上、116.7cm×116.7cm（S 50 号）以下

※額ぶちを含めた大きさは 130.7cm×130.7cm×7cm以下とします。額ぶちの幅はマットを含めて7cm以下（版画作品のマット幅は制限なし。）とし、ガラスは付けなくてください（アクリルは可）。

●彫塑系

重量 500kg以下。縦・横・高さの合計 350cm以下

※組作品は2個までとします。組作品の合計で、規格を超えないでください。

●工芸系（陶芸、染織〔染め、織り、刺繍、パッチワーク、編み物、刺し子等〕、金工、漆芸、木竹工、人形、ガラス、七宝、皮革等）

平面作品：116.7cm×116.7cm（S 50 号）以下

立体作品：縦・横・高さの合計 150cm以下。着物については、縦・横の最大幅 200cm以下

※組作品は 10 個までとします。組作品の合計で、規格を超えないでください。

※付属物（額装、タペストリー状の作品は除く。）を付けなくてください。

※額装にする場合、額ぶちを含めた大きさは 130.7cm×130.7cm×7cm以下とします。額ぶちの幅は7cm以下とし、ガラスは付けなくてください（アクリルは可）。マットを付ける場合、マット幅の制限はありません。

※タペストリー状の作品には、吊り下げのための棒を付けてください。

●書系（A 漢字 B 仮名 C 前衛）

I 型：額装の大きさ 122cm×122cm以下（縦・横の向きは自由）

II 型：額装の大きさ 61cm×182cm以下（縦・横の向きは自由）

III 型：帖装の大きさ 40cm×400cm以下（見開き 60cm以下）

※篆刻作品は印影のみとし、1 顆を 1 点とします。印材は出品できません。

※巻物・屏風形式は出品できません。

※額装にする場合、ガラスは付けなくてください（アクリルは可）。

※作品搬入時に出品・釈文を提出してください。用紙はこの要項にあります。

●写真系

プリント作品：パネルの大きさ 43.2cm×35.6cm（半切）以上、100cm×80cm（全倍）以下

※パネルの制限内で、組写真も出品できます。

※パネルは堅牢な材質で、展示用金具を取付可能なもの（裏面周縁に木枠のあるものが望ましい。）とし、作品保護のため、表面にはできるだけマットを付けてください（マグネット式は不可）。マット幅の制限はありません。

※額装にする場合、額ぶちを含めた大きさは 114cm×94cm×7cm以下とします。額ぶちの幅は7cm以下とし、ガラスは付けなくてください（アクリルは可）。

●デザイン系（環境、建築、インダストリアル、パッケージ等、テーマは自由）

平面作品：パネルの大きさ 103.0cm×72.8cm（B 全判）。厚さ 10cm以下

立体作品：縦・横・高さの合計 300cm以下

※パネルは堅牢な材質で、展示用金具を取付可能なもの（裏面周縁に木枠のあるものが望ましい。）とし、作品保護のため、表面には必ずビニールを張ってください（アクリル、ラミネートも可）。

※共同制作の作品も出品できます。出品は代表者1名が行ってください。

●映像系（実写、アニメーション、ドラマ、ドキュメンタリー等、テーマは自由）

MP4ファイル：再生時間 10 分以下

※作品には、作品名、作者名を表示してください（再生開始後、2 秒間）。

※新県美展における再生環境の音声は2chです。

※受賞作品は広島国際映画祭 2022（主催：広島国際映画祭実行委員会）でも上映される予定です。この場合、受賞者の連絡先を広島国際映画祭 2022 事務局へ提供しますので、予め御了承ください。

※共同制作の作品も出品できます。出品は代表者1名が行ってください。

4 出品上の注意事項（必ずお読みください。）

この要項に記載する内容を御了承の上、出品してください。

※この「第 10 回新県美展（第 74 回広島県美術展）開催要項」を遵守しない場合は、次回から出品をお断りすることがあります。御注意ください。

●出品資格

広島県在住者とします。ただし、県内の職場・学校に通勤・通学する方や、学生・単身赴任等で一時的に広島県を離れている方は、県外在住者であっても出品することができます。

●出品作品

自己の制作した作品で未発表のもの、著作権・肖像権等を侵害しないものとします。なお「広島県Web 公募美術展（令和 2 年度開催）」及び「令和 3 年度広島県Web 公募美術展」に発表した作品は出品できます（写真系・映像系は除く）。

（出品を受け付けない作品の例）

※実在の商品名や会社名を表現した作品

※他展覧会等で審査を受けた作品や、「3 公募する作品の種目及び規格」に違反する作品

（著作権、肖像権等について）

※著作権、肖像権等は、小説家や画家、作曲家等の創作活動を職業とする人又は著名人のみではなく全ての人が有する権利です。

※作品の制作・発表にあたって他者の著作権や肖像権等が関係する場合、出品者の責任において使用する権利を予め得ること。

※著作権、肖像権等の使用について原権利者に確認を求める場合、本美術展は入場有料であり、入場無料の場合とは権利使用の条件が異なることに注意すること。

※音楽の著作権に関する詳しい問合せについては、一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）まで

☎ 03-3481-2172（複製部ビデオグラム課）ホームページ：https://www.jasrac.or.jp/

●出品点数の制限

1 種目につき 1 人 1 点まで

※共同制作（デザイン系、映像系に限る。）の出品は 1 グループ 1 点まで

●出品料の納入

映像系作品以外：1 点につき 3,000 円。映像系作品：1 点につき 1,000 円

※このほか搬入、搬出の荷造費・運搬費・資料送付費など、出品に係る全ての経費は出品者の負担とします。

●作品の取扱い

出品作品は慎重に取り扱いますが、事故について主催者はその責任を負いません。また、新県美展に関しての広報目的で使用したり、入選作品は主催者が編集する印刷物やホームページ等に掲載する場合があります。

※必要に応じ、各自で保険に加入してください。

※出品者間又は第三者によるトラブル等が発生した場合であっても、主催者はその責任を負いません。

※額装とする場合、作品の固定を厳重にし、(金属額ぶちの裏に付属する吊り金具を除いて) 展示用の釘、ヒートンや紐等は付けなくてください。

※総重量が 50kg を超える作品、取扱いが困難な作品は、広島県立美術館に直接搬入してください。

●個人情報の取扱い

「第 10 回新県美展（第 74 回広島県美術展）出品申込書」に記載されている個人情報は、「広島県個人情報保護条例」に基づき厳正に管理し、本展の実施とそれに付随した入選者等の発表・目録作成のために使用します。入賞者については、名前・住所（市区町名まで）・電話番号・年齢・作品名を報道機関に提供し、名前・住所（市区町名まで）・作品名・作品の画像を広島県ホームページ等に掲載します。

※本展を中止し、代替展を実施することとなった場合、代替展を周知するために利用することがあります。

※本展実施に係る業務を業者に委託する場合は、委託先に対しても、「広島県個人情報保護条例」に基づく管理を義務付けます。

5 作品の出品・搬入方法について（映像系は別途）

●広島県立美術館（広島市中区上幟町 2-22）への搬入

事前申込期限：5月13日（金）必着

一般搬入日：5月20日（金）～5月22日（日）9時～16時 ※12時～13時は受付を一時休止

広島県立美術館への作品搬入は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事前申込制とします。

（「出品申込書」で申込み）

必要事項を記入し、切手を貼って投函してください。※1作品につき1枚

（インターネットで申込み）

広島県ホームページ（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/40/dai10kaisinkenbiten.html>）の申込フォームから申込み
てください。

◆代理搬入される業者の皆様へ

業者搬入日：5月19日（木）9時～16時 ※12時～13時は受付を一時休止

この要項に付属の「出品申込書」や県ホームページの申込フォームではなく、別に様式「申込書（業者用）」を設けています。
広島県ホームページからダウンロードしていただくか、文化芸術課まで連絡してください（「10 問合せ先」を参照）。

◆作品搬入までの流れ

①「出品申込書」の郵送、又は県ホームページの申込フォームにより事前申込みを行ってください。

※搬入希望日時は第1～第3希望まで必ず記入してください。

②広島県から郵送される通知文「作品搬入について」（水色の用紙）を開封して、搬入日時を確認してください。

※通知文（水色の用紙）に「作品の題名」及び「作品の大きさ」が未記載の場合、搬入日時までに必ず記入してください。

③搬入当日、通知文及び出品料を作品とともにお持ちください。

※書系作品を出品される場合は、釈文（この紙に付属）も必ずお持ちください。

※出品者本人、又は責任ある代理人が搬入してください。

※指定された搬入日時の都合が悪い場合、必ず文化芸術課へ連絡してください。再調整いたします。

●巡回展開催市町への搬入に関する問合せ先

巡回展開催市町へ搬入する場合は、出品・搬入方法が異なります。各担当部署へ問い合わせ、その指示に従ってください。
また、お住まいの市町以外への搬入は、希望する市町の担当部署へ事前連絡してください。

市町	担当部署	電話番号
世羅町	世羅町教育委員会 社会教育課	☎0847-22-4411
府中市	府中市総務部 地域振興課	☎0847-43-7251
福山市	福山市経済環境局 文化観光振興部文化振興課	☎084-928-1117
三原市	三原市教育委員会 文化課	☎0848-64-9234
庄原市	庄原市 田園文化センター	☎0824-72-1159
江田島市	江田島市教育委員会 生涯学習課	☎0823-43-1902

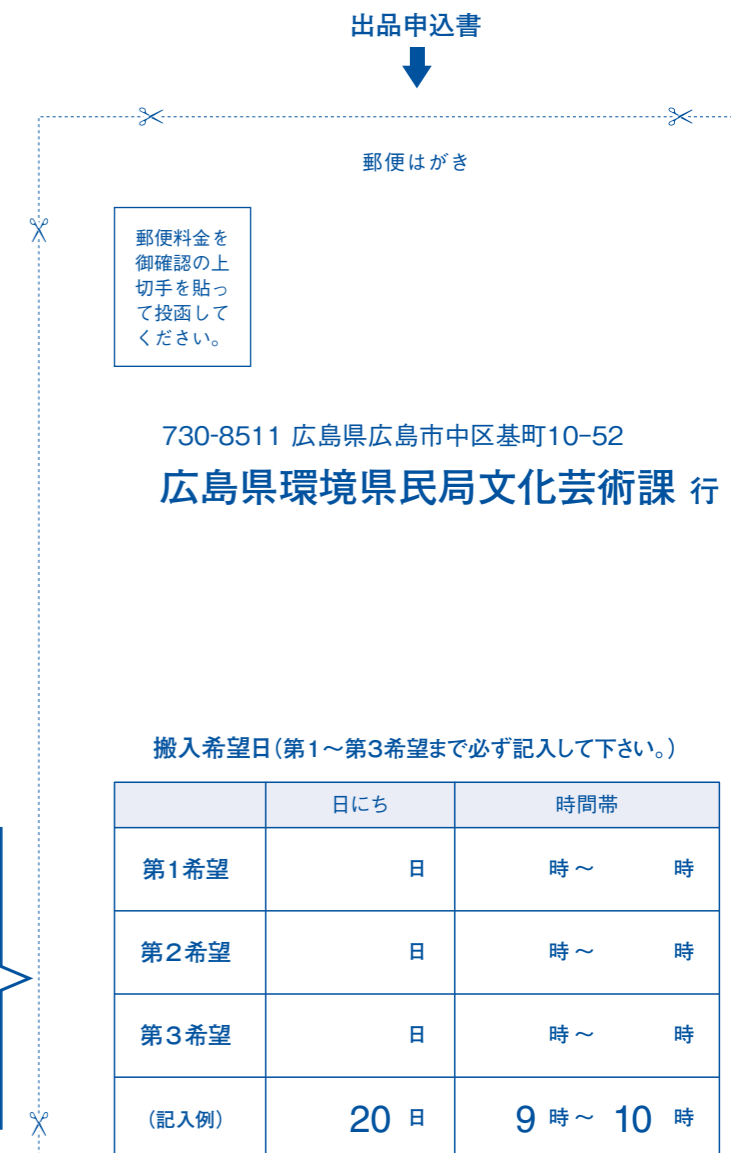
6 映像系作品の出品について

作品及び作品のスチール写真データ（静止画像JPG、PNGに限る。）を無料のファイル転送サービス（GigaFile 便、Filemail 等）にアップロードし、ダウンロードURLを広島県ホームページ（<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/40/dai10kaisinkenbiten.html>）の申込フォームに入力してください。

※出品料の納入：1,000円分の郵便為替を広島県環境県民局文化芸術課（〒730-8511 広島市中区基町 10-52）に送付してください。

※出品方法：申込フォームのみ。

※出品方法の性質上、作品の返還は行いません。



搬入希望日時は次の時間帯から選択してください。

日にち：5月20日（金）～22日（日）

時間帯：9時～10時、10時～11時
11時～12時、13時～14時
14時～15時、15時～16時

7 出品作品の返還・搬出について（映像系は除く）

返還に係る作品搬出については、予約不要です。

返還作品		返還を行う期間・場所
選外作品	巡回展開催市町へ搬入した場合 (要項「2」の「地元入選作品の対象」参照)	別途、巡回展開催市町から連絡します。
	上記以外の場合	6月3日(金)～5日(日) 9時～16時 (12時～13時は受付を一時休止) 場所：広島県立美術館
入選作品	巡回展で展示する場合 (要項「2」の「地元入選作品の対象」参照)	別途、巡回展開催市町から連絡します。
	上記以外の場合	7月1日(金)～2日(土) 9時～16時 (12時～13時は受付を一時休止) 場所：広島県立美術館
入賞作品	巡回展開催市町の地元作品	別途、巡回展開催市町から連絡します。
	上記以外の作品	11月12日(土) 9時～16時 (12時～13時は受付を一時休止) 場所：広島県立美術館

※出品作品は、主催者が指定した期間・場所で「作品預かり証」と引換えに返還します。

※「作品預かり証」を亡失、毀損したときは、速やかに「10 問合せ先」に申し出て再発行を受けてください。

※出品作品の返還場所は、原則として作品の搬入場所です。

※入選作品のうち巡回展に展示する作品は、各巡回展終了後、巡回展開催市町の搬出場所において返還します。

※入賞作品のうち、この要項「2 展覧会の概要」の「地元入選作品の対象」の作品は、巡回展の全日程終了後、巡回展開催市町の搬出場所において返還し、その他の作品は広島県立美術館において返還します。

※搬出期間経過後、なお搬出されない作品の保全については、主催者は一切の責任を負いません。また、荷造運賃着払いで出品者宛てに返送します。

8 出品作品の審査、結果通知、表彰等

●審査の日程及び審査員

審査会場は広島県立美術館（広島市中区上鞆町2-22）です。

日時	種目	審査員
5月24日(火)	9時30分～	絵画系 川野裕一郎(東亜大学教授) 吉原 慎介(尾道市立大学教授) 榎原 慶喜(画家・元八千代の丘美術館館長)
	13時～	彫塑系 青木 寛明(井原市立田中美術館主任) 伊東 敏光(広島市立大学教授)
5月25日(水)	9時30分～	写真系 中里 和人(写真家・東京造形大学教授) 村上 宏治(写真家)
	13時～	デザイン系 吉原 直彦(岡山県立大学名誉教授) 彌中 敏和(株GKデザイン総研広島代表取締役社長)
5月26日(木)	9時30分～	書系 鈴木 慶子(長崎大学教授) 信廣 友江(安田女子大学教授)
	9時30分～	映像系 山村 浩二(アニメーション作家・東京藝術大学大学院教授) 矢澤 利弘(県立広島大学教授)
	13時～	工芸系 並木 誠士(京都工芸繊維大学美術工芸資料館館長) 大塚 智嗣(広島市立大学教授)

※令和4年3月1日現在

※審査員は、都合により変更になる場合があります。

※この要項に違反する作品は、審査の対象としません。また、審査後に違反の事実が判明した場合は、入賞・入選を取り消すことがあります。

※審査結果について出品者が異議を申し述べることはできません。

●審査の公開・見学について

審査は公開します。見学を希望される方は、下記を参照の上、お申し込みください。

申込方法：往復はがき（1人、種目ごとに1枚）に次の事項を記入し、郵送してください。

往信裏面／①見学したい種目 ②名前・住所・電話番号

返信表面／③名前・住所・郵便番号

申込受付期間：4月1日(金)～5月9日(月) 必着

申込先：広島県環境県民局文化芸術課 〒730-8511 広島市中区基町 10-52

※申込みが多い場合は抽選とします。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、急ぎ審査の見学を中止とする場合があります。

●審査結果の発表

審査結果は入選者に郵送で通知します（選外者には通知しませんので、御了承ください）。

結果発表日：5月28日(土)

入選者の一覧は、広島県ホームページ上に掲載します。電話等による問合せにはお答えできません。

●表彰について

入選作品のうち、優秀な作品に対して、次のとおり賞を授与します。

表彰式：6月11日(土) 10時30分から、広島県立美術館の地階講堂で行います。

※大賞…賞状及び副賞（5万円）

※優秀賞…賞状及び副賞（1万円）

※奨励賞…賞状

※新型コロナウイルス感染症の状況により、急ぎ表彰式を中止とする場合があります。

●入館者投票について

中央展の展示作品について、会場で入館者による人気投票を行い、人気大賞には賞状を授与します。

入館者投票期間：6月11日(土)～6月23日(木)

※投票の結果は、6月25日(土)までに広島県ホームページ上に掲載するとともに、受賞者に電話で連絡します。結果に関する問合せにはお答えできません。

第10回 新県美展（第74回 広島県美術展）出品申込書

※色付きの項目は、郵送前に必ず記入してください。

種目	いずれかに○をしてください。 絵画系（ A 日本画 B 油彩画 C その他（ ） ） 書系（ A 漢字 B 仮名 C 前衛 ） 彫塑系 工芸系 写真系 デザイン系
名前	ふりがな <small>本名か雅号のいずれか1つとし、郵便物が届き、連絡が取れる名前</small>
年齢	歳
電話番号	— — ※携帯電話、学校、職場等確実に連絡の取れる番号
住所	〒 — 県外在住の方 〒 — ※県内連絡先を記入してください。
作品の題名	ふりがな
作品のサイズ	サイズ (cm又は号)
	重量 (彫塑系作品のみ) kg

【必ずチェックしてください】 著作権・肖像権等を侵害しない作品ですか

第10回 新県美展（第74回 広島県美術展）書系積文

※作品の搬入時に作品とともに提出してください

受付番号 <small>受付番号は記入しないでください</small>	名前
出典	積文

9 新型コロナウイルス感染拡大防止について

次のとおり対策を行っています。御理解と御協力をお願いします。

正しいマスク着用・手指のアルコール消毒・咳エチケット

会話は控えめにし、特に大声での会話は行わないでください。人と人との接触を避けるため、できるだけ1mの距離を空けてください。発熱や、軽度であっても咳、のどの痛みなどの症状がある方は、来場を御遠慮ください。

10 問合せ先

《新県美展全般のことについて》

広島県環境県民局文化芸術課

〒730-8511 広島市中区基町 10-52 ☎ 082-513-2722 受付時間：平日8：30～17：15

《作品の規格について》

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 ☎ 082-221-6246 受付時間：平日8：30～17：15

《詳細は、広島県ホームページ》<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/40/dai10kaisinkenbiten.html>

(トップページ>組織でさがす>環境県民局>文化芸術課)



広島県立美術館 展覧会の御案内

2022年4月—2023年3月

特別展

国立国際美術館コレクション 現代アートの100年

The Collection of The National Museum of Art, Osaka:
100 Years of Contemporary Art

4月2日(土)—5月29日(日) ※月曜休館(5月2日は開館)
April 2 (Sat) — May 29 (Sun) *Closed on Mondays (Except May 2)

20世紀の絵画に多大な影響を与えたポール・セザンヌや、現代美術の父とも呼ばれるマルセル・デュシャンら巨匠に始まり、ポップアートの旗手アンディ・ウォーホル、日本を代表する現代作家である草間彌生や森村泰昌、奈良美智まで、約70点の名品で現代アートの100年を辿ります。

Approximately 70 masterpieces are on display, covering from the masters of modern art including Paul Cézanne and Marcel Duchamp to contemporary artists representing Japan including Kusama Yayoi, Morimura Yasumasa, and Nara Yoshitomo.

皇室の美と広島 —宮内庁三の丸尚蔵館の名品から—

The Beauty of the Imperial Household in Connection with Hiroshima:
The Masterpieces of the Museum of the Imperial Collections, Sannomaru Shōzōkan

9月16日(金)—10月30日(日) ※月曜休館(祝日は開館)、10月11日(火)休室
September 16 (Fri) — October 30 (Sun)
*Closed on Mondays (Except holidays), Closed on October 11 (Tue)

本展では、宮内庁三の丸尚蔵館所蔵の名品から、広島県にゆかりのある作家や作品など、皇室と広島との繋がりを伝える品々を紹介します。皇室に伝えられたさまざまな美のかたちをご堪能ください。

This exhibit introduces pieces from the Museum of the Imperial Collections that show the connection between the Imperial Household and Hiroshima, with a focus on artists and pieces related to Hiroshima Prefecture.

安野光雅美術館コレクション 安野先生のふしぎな学校

Amazing School of ANNO Mitsumasa:
from Anno Art Museum Collection

7月8日(金)—9月4日(日) ※会期中無休
July 8 (Fri) — September 4 (Sun)

画家・安野光雅(1926—2020)の作品は、自然あふれる津和野での幼少時代に空想をめぐらせながら過ごした経験から生まれました。本展では、画家として独立する前の教員時代に着目し、「安野先生のふしぎな学校」として授業の科目に見立てて紹介します。

This exhibition introduces the artist Anno Mitsumasa's works of various genres from the collection of the Tsuwano Municipal Anno Art Museum imagined as school subjects.

第69回日本伝統工芸展

The 69th Japan Traditional Kōgei -Art Crafts- Exhibition

2月15日(水)—3月5日(日)
February 15 (Wed) — March 5 (Sun)

人間国宝から新進気鋭の若手まで、現代日本の卓越した技と美を一堂に見られる展覧会。
現代に生きる「伝統」約280点がここに集結!

Displays a combination of the exceptional skill and beauty of contemporary Japanese art crafts from Living National Treasures (Holders of Important Intangible Cultural Property) to up-and-coming young artists.